

令和 6 年度



長崎県学力調査

中学校第 2 学年 国 語

注 意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 問題は、1 ページから 13 ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 解答は指示された解答欄とうらんに記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 5 印刷がはっきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容に関する質問には答えられません。
- 6 解答時間は 45 分間です。
- 7 解答用紙には、「組」、「番号」、「氏名」を書く所があります。まちがいのないように書いてください。
- 8 解答用紙の「補助票」には何も記入しないでください。

緑川市に住む清水さんは、総合的な学習の時間に、「ふるさとの魅力みりょくを考える」という学習に取り組んでいます。地域の広報誌から情報を集めていた清水さんは、「地域を愛し、愛されるカフェ」を目指して活動している太田さんの記事に興味をもち、太田さんにインタビューをしました。次の【広報誌の記事】、【インタビューの前に準備したメモ】、【インタビューの様子】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【広報誌の記事】

～地域を愛し、愛されるカフェに～

緑川市にカフェを開いて10年になります。「地域を愛し、愛されるカフェ」でありたいと願っています。

提供する食事は、「地産地消」を心がけています。ただ、地域の食材をどのように調理すれば、食材のもつ魅力を最大限に引き出すことができるか、常に試行錯誤しこうさくごの繰り返しです。また、食材のよさを生かしたおいしい料理を提供することはもちろんですが、この地域には、魅力的な食材があるということを多くの人に発信していくことも大切だと考えています。



Cafe Green 太田さん

カフェいちおしのメニューは、旬しゅんの野菜をたくさん使ったカレーライスです。スパイスの香りかおと、野菜から染み出すおいしいスープが合わさって、食欲が増すこと間違いなしです。季節によって味わいも変わるので、お客様からも好評です。食材の魅力を引き出し、それらを発信していくことの難しさを感じることもありますが、これからも「地産地消」の視点を忘れず、地域の魅力を伝えられるような工夫を重ねていきたいと思っています。

●広報みどりかわ
令和〇年△月

【インタビューの前に準備したメモ】

〈インタビューの目的〉

太田さんの「地域を愛し、愛されるカフェ」であるための思いや取組を聞き、自分の学習の参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉

- ・「この地域には、魅力的な食材があるということを多くの人に発信していくことも大切だ」と考えるのはどうしてか。
- ①
- ・地域の人々と、どのように関わっているか。
- ・太田さんが考える「緑川市の魅力」とは何か。

【インタビューの様子】

清水

緑川中学校の清水です。今日は、太田さんの思いや取組、地域との関わりについて、詳しくお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

太田

こちらこそ、よろしくお願いします。

清水

早速ですが、太田さんは、食材のよさを生かしたおいしい料理を提供するだけでなく、「この地域には、魅力的な食材があるということを多くの人に発信していくことも大切だ」と話されているのを広報誌で読みました。そのように考えるのはどうしてですか。

太田

実は以前、私は緑川市の魅力をあまり意識していませんでした。でも、大学進学で他県に住んだときに、ふと、ふるさとの料理のおいしさを思い出し、懐かしい気持ちになりました。私自身は、一度、緑川市を離れたことで、地域の食べ物や料理のよさに気付くことができましたが、その魅力に気付いていない人もたくさんいるのではないかと考えたことがきっかけです。緑川のすばらしさを、もっと多くの人に知ってほしいのです。魅力的なメニューを開発しながら、地元の食材や生産者との交流について、これからも積極的に発信していこうと思っています。

清水

② そうなのですね。そうになると、地域の方と接する機会も増えますよね。地域の方とはどのようにして関係を作っているのでしょうか。

太田

最初は、ためらうこともありましたが、でも、私から積極的に話しかけることで、思いを理解してもらえました。地域の皆さんと接するときにもいつも心がけているのは、きちんとあいさつをすること、感謝の気持ちを伝えること、自

清水

分にできることを見付けて行動することです。今では、たくさんのアドバイスをもらえるようになりましたよ。思いを行動に移すことが大事ですね。最後に、太田さんが考える「緑川市の魅力」についてお聞きしたいと思います。

太田

緑川市の魅力は、海に囲まれ、山や緑が多く、自然豊かであるということです。美しい海や山こそが、おいしい食材の源ですし、その食材を育てている地域の方々も、魅力的な方たちばかりです。ただ、その魅力に気付いていない人が多いことは課題だと考えています。だから、食材や料理を通じて、まずは私から緑川市の魅力を発信していきたいと思っています。

清水

とても参考になりました。質問は以上です。今、総合的な学習の時間に「ふるさとの魅力を考える」という学習をしています。

太田

ありがとうございました。

一 清水さんの【インタビューの前に準備したメモ】について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 インタビューを和やかに行うために、ユーモアを交えた質問を用意している。
- 2 インタビューをスムーズに進めるために、相手の答えを前もって予想している。
- 3 インタビューの目的に沿った質問をするために、尋ねる内容を整理している。
- 4 インタビューの相手に敬意を払うために、話し方や言葉遣い（はたら）を工夫している。

二 清水さんが【インタビューの前に準備したメモ】に、——線部①『この地域には、魅力的な食材があるということ』を多くの人に発信していくことも大切だ』と考えるのはどうしてか。』と書いたのは、【広報誌の記事】のどのような点に気付いたからだと考えられますか。最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 太田さんの考えと理由は示されているが、理由としては不十分である点。
- 2 太田さんの考えは示されているが、その理由が明確に書かれていない点。
- 3 具体例は示されているが、太田さんの考えとは内容が矛盾している点。
- 4 具体例は示されているが、太田さんの考えが詳しく書かれていない点。

三 【インタビューの様子】の——線部②『そうなのですね。そうになると、地域の方と接する機会も増えますよね。』について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 相手の発言をふまえて相づちを打ち、さらに次の質問につなげようとしている。
- 2 相手の発言をふまえて疑問を投げかけ、いったん話の結論を出そうとしている。
- 3 相手の発言をふまえて反対意見を述べ、話の内容を正確に捉えようとしている。
- 4 相手の発言をふまえて自分の考えを提案し、相手の話をまとめようとしている。

四 清水さんは、【インタビューの様子】の□で、インタビューを通して「印象に残ったこと」を、太田さんに伝えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、解答を読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【インタビューの様子】から、太田さんの話の内容を具体的に取り上げて書くこと。

条件2 条件1で取り上げた内容がなぜ印象に残ったのか、あなたの考えを書くこと。

田中さんと鈴木さんは、自然保護に関する日本人の意識について調べています。【A】と【B】は、約五十年前に書かれた自然保護に関する文章です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

（筑波 常治「緑と青の自然」による）

（宮脇 昭「日本人と自然の間柄」による）

一 文章中の【ア】・【イ】にあてはまる接続詞の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|---|------|---|------|
| 1 | ア | だから | イ | ただし |
| 2 | ア | そのうえ | イ | それとも |
| 3 | ア | しかし | イ | しかも |
| 4 | ア | では | イ | でも |

二 【A】の——線部「ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ」の和歌について、筆者がこの和歌を取り上げることに よる効果を次のようにまとめました。()にあてはまる言葉を、【A】の文章中から十二字で抜き出しなさい。

サクラの花を惜しむ気持ちがこめられた和歌を取り上げること、日本人が昔から()をもっていたと捉える筆者の考えにつなげる効果。

三 【B】の文章中の——線部ⅠⅡⅢのカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直し、楷書でていねいに書きなさい。

- | | | | | | |
|---|---------|---|---|---|------|
| I | ハッテンさせて | Ⅱ | 便 | Ⅲ | キズいて |
|---|---------|---|---|---|------|

四 【B】の——線部①「そびえていた」の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 邪魔 <small>まじ</small> になつていた |
| 2 | 急速にのびていた |
| 3 | 広く生えていた |
| 4 | 高く立っていた |

五 【B】の——線部②「よく知っていた」に対する主部として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 昔の人たちは
- 2 自然の緑が
- 3 できないものだということを
- 4 長い間の経験で

六 田中さんと鈴木さんは【A】と【B】の文章を読み比べて、気付いたことを話し合いました。

田中 読んでみてどうだったかな。

鈴木 【A】には、ヨーロッパの人々と日本人の、自然に対する捉え方が書いてあったよ。

田中 ヨーロッパの人々は、自然は人間と（③ 四字）ものであり、ずっと利用するためには保護・育成しなければならぬとも考えていたのだね。

鈴木 それに対して、日本人は、自然は人間に（④ 九字）ものだと考えていたようだよ。

田中 確かに。【B】を読むと、日本では、自然との共存や（⑤ 二字）が大切にされていたことが分かるね。

鈴木 そうだね。ただ、日本人の自然との付き合い方に関して、二人の筆者の捉え方には、違いがあるようだよ。

【A】の最後には、「自然への過度の甘え」があったと書いているけれど、【B】の文章には土地に応じた環境づくりや、無理の少ない自然利用をしてきたとあるよ。

田中 でも、【B】の文章の続きを読みると、二人の主張には^⑥重なる点もあることに気付いたよ。

(1) 右の話し合いの③～⑤の（ ）に入る適切な言葉を、【A】と【B】の文章中からそれぞれ指定された文字数で抜き出さなさい。

(2) ——— 線部⑥「重なる点」について気になった鈴木さんは、次の【B】の文章の続きを読みました。

【B】の文章の続き

きみの身のまわりを、もう一度じっくりと見わたしてみた
まえ。緑が少なくなつてはいらないか？ とんぼもばったも姿が
見えないではないか。とんぼやばったが生きていけないよう
な環境で、人間だけが何の変わりもなく生きていけるのだろ
うか？ わたしたちのからだは、結局、自然界の生命集団の

中の一つでしかない。残念ながら、科学が進歩するように急
激には、肉体は変化しないのだ。だから、文明の進歩につれ
て自然が破壊され、環境が汚染されていくようなら、人間の
からだはそれに順応できず、滅^{ほろ}んでいくしかないことになる。

この文章をふまえて、鈴木さんは【A】と【B】の共通点を田中さんに伝えました。その内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 どちらも自然を科学の力で管理するように提案していること
- 2 どちらも自然を破壊することに対する危機感を述べていること
- 3 どちらも自然を最大限に利用することの有効性を述べていること
- 4 どちらも自然を観察して災害を予測するべきだと主張していること

問題は次のページに続きます。

【下書きの一部】

3

「ものの数え方について」

町田 ゆうと

1. はじめに

ラーメン店で「ラーメン1つ」と注文したら、お店の人が「ラーメン1丁」と言い換えたことを不思議に思い、学校図書館で調べてみると、ものを数える言葉は多数あることが分かり、いろいろなものの数え方やその由来について調べることにした。

2. 調査方法

学校図書館・県立図書館・インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

◆日本語のものの数え方

日本語では、ものの数や量を表すときに、数字だけでなく、決まった単位をつける。これらの単位は、約500種類も存在するといわれ、数えるものの形や性質をある程度、反映して使い分けている。

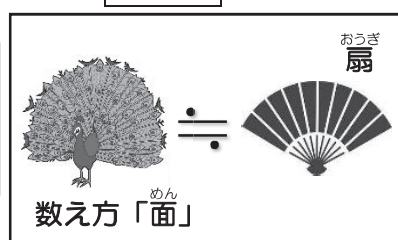
◆ラーメンの数え方

できあがったラーメンを「1丁」と数えるのは店員で、客は「1丁」とはあまり言わない。「丁」という漢字には、勢いのある様子を表す意味があり、雰囲気や気分を盛り上げ、元気を出すためにお店の人が使い出したことが分かった。

◆めずらしいものの数え方とその由来の例

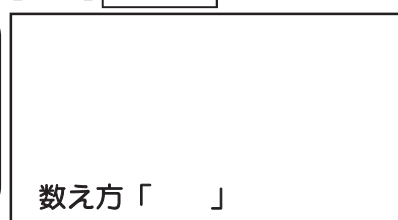
①【図1】について、クジャクは「面」で数えることもある。なぜなら、羽を広げた雄のクジャクと開いた扇の形が似ているので、扇の数え方と同じ「面」を使うようになったそう。

【図1】クジャク



【図2】

②【図2】について、



4. まとめ

〈出典・参考文献〉

安田 幸三『日本語の由来入門』2015年 小文堂出版

※

町田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。左は、町田さんが書いているレポートの【下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

一 町田さんは、【下書きの一部】の「1. はじめに」を読み直したときに、一文が長く分かりづらいと感じたので、……線部を次のように二文に分けて書き直すことにしました。

学校図書館で調べてみると、ものを数える言葉は多数あることが分かった。そこで、いろいろなものの数え方やその由来について調べることにした。

二文目のはじめに「そこで」という接続詞を入れた意図として適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 「そこで」を入れることで、前の行動の原因を追求するため。
- 2 「そこで」を入れることで、前の行動の根拠を追求するため。
- 3 「そこで」を入れることで、次の行動の特徴を明確にするため。
- 4 「そこで」を入れることで、次の行動の理由を明確にするため。

二 町田さんは、【下書きの一部】の「4. まとめ」の最後に、〈出典・参考文献〉として、次の一冊についても載せることにしました。次の【表紙】と【奥付】から必要な情報を抜き出し、※に合うように書きなさい。

【表紙】



【奥付】

【著者紹介】

朝見 花子（あさみ はなこ）
1967年埼玉県生まれ。尾上大学文学部修了。主著に『数にまつわる言葉』など。

数え方の本

2021年	初版	第1刷発行
著者	朝見 花子	
発行者	林 秀正	
発行所	青空書房	

〒000-0000
東京都千代田区〇〇
電話 03-1234-××××
<http://www.kazoemasyo.△.△>

三 町田さんは、【下書きの一部】の「◆めずらしいものの数え方とその由来の例」に【図2】としてもう一つ具体例を示して、数え方とその由来を書こうとしています。あなたなら、どのように書きますか。【図2】について、「に続けて、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、解答を読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

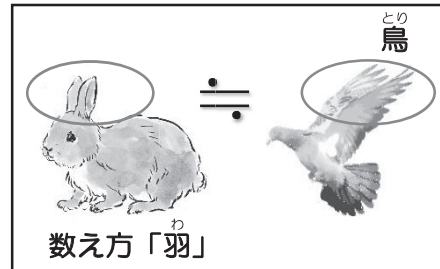
条件1 次の〈候補〉のA(ウサギ)、B(刀)のうちどちらか一つについて書く。

条件2 【下書きの一部】にある【図1】の説明の仕方を参考に、数え方とその由来が分かるように書く。

〈候補〉

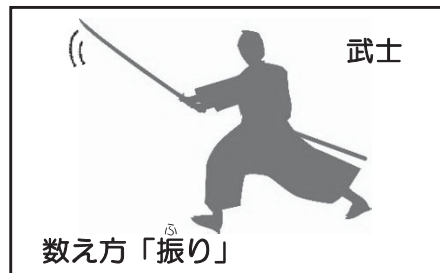
A

【図2】ウサギ



B

【図2】刀



これで、
国語の問題は終わります。

